

北上大さんの気象予報士受験者応援団HPご覧の皆さんへ

気象予報士受験者応援団サイト卒業生さとちゃんからの(お役にたてるかどうかわかりませんが)試験に臨むにあたってのこれまで私がやってきた学習法や資料等を紹介したいと思います。

あくまで私が合格に至ったやり方であり、皆さんも同じようにやれば必ず通るということは保証できません。皆さんそれぞれの、自分のやり方を確立することが必要だとは思いますが、それを見つけるための足がかりとなれば幸いです。一度に全てをやろうとしてもできません。私も最初は少しずつ勉強を進めていき、起動に乗り始めて、徐々にペースアップしていきました。知識が付いてくれば、面白くなるし勉強がスムーズになります。

26. 3. 13

試験のためにやったこと 全般まとめ

試験のためにやったこと全般

☆試験まで

- ・「**努力目標**」を白紙に手書きで大きく書き、勉強場所の「**目の前に貼っておいた**」(目標を書いて貼ると叶います)
- ・「**試験対策資料**」は、疑問に思う度に疑問点をメモ書きし、すぐに調べ、すぐ作り直した(紙はもったいなかったけど、身になった)
- ・「**過去問題**」は5年さかのぼって勉強した。出題の傾向は変わっても、基本事項は変わらないと思った為(結果、過去問題が勉強になった)
- ・「**エキス**」を集めた勉強に努めた。幅広くやるとキリがないため(「試験対策資料」「質問／解答比較集」は「**エキス抽出**」の産物)
- ・「**試験対策資料**」の作成に力を入れたが、時間節約のため「作ってから覚える」ではなく、「**作りながら覚えて**」いく工夫をした。
- ・「**質問／解答比較集**」は「記述問題用」、「計算問題用」、「警報注意報問題用」、「穴埋め問題用」を作成した。
- ・「**過去の統計データ**(合格率など)」は必ず最新版をチェックした。
- ・過去試験の「**合格基準**」は必ず印刷して試験勉強ファイルに綴っていた。試験に落ちた悔しさをバネにするため。
- ・「**地域名**」、「**天気図記号表**」はすぐ使えるようにパウチしてファイルに綴っていた。
- ・講習中は「**とにかく質問しまくった**」。自宅でも勉強中疑問が起きたら、すぐメールでストーカー並に(笑)質問メールを送りまくった。
- ・「**自作の解答用紙**」を作成・改善した(自作することで解答用紙に記入する上でのテクニックなどが見えてくる)
- ・「**わからないこと**」は質問したりネットで調べまくった(発雷温度とか)
- ・「**文章問題**」はひたすら練習した(そのための「**記述専用マス目解答用紙**」、「**質問解答比較集**」。実技試験は「**国語の試験**」)
- ・「**作図**」は正確な位置の確認のため、パワーポイントで「**重畳作業**」を怠らなかった。
- ・「**気象サイト**」をいろいろ調べた(北上さんのホームページも含む)

☆試験直前

- ・北上さんの試験直前の「**応援呪文**」の「**問題文を正確に読み取れ！！**」は印刷してみんなに配った(私の心に響いた！！)
- ・試験当日は応援呪文「**問題文を正確に読み取れ！！**」を、何度も読み返した(それでも盆ミス、わかっている問題のとりこぼしもあった)

☆試験後

- ・「**試験後もすぐに見直し**」を実施。「**再現解答を記憶が薄れる前に速やかに作成**」し、反省点をまとめた。
- ・「**再現解答**」は講習先や受験者支援会で「**採点してもらった**」。反省し、速やかに次回のための準備に努めた(42回の準備も始めてました)

☆今後皆さんに対して

- ・私が作成した資料は、もし必要ならデータで提供します。が、間違いがある可能性もあるし、やはり自分で作った方が身になると思います。

☆試験に対する取り組みで思ったこと(アドバイスになればいいですが)

- ・勉強内容をまとめる時は、ノートよりもA4の「**白紙**」をファイルなどで保管する方法が有効。図の記入や、追記もあり、必要な資料だけファイルから取り外してフリーで使えることもあり、取り扱いや管理が楽！！
- ・「**計算式**」は、本番で自信を持って解くために、練習を日頃からやっておく。単純な計算でも当日不安になり、計算ミスの可能性が高まる。
- ・東京学芸大学の「**気象学概説**」資料は、実技のみの受験者に対し、学科を復習・再確認する際にとっても有効。